

特許紹介

第27巻第7號 昭和16年7月

埋設したる濾水管の濾水孔の閉塞法

(特許第141932號 發明者 龜山賢次
(特許權者) 日本濾水機株式會社)

鑿井工事に於て一旦濾水管を埋設し終つた後種々な事情の爲、濾水孔を閉塞するの必要を生ずることがある。而かも斯かる場合その濾水孔を有する管は他の管と流通する必要がある。此の發明は叙上の如き濾水管の閉塞を簡易に且安全に行はしめるものである。その方法は、内管(4)の上周(1)及下周(2)其の他周面の任意の部分に圍繞して防濕纖維材の束(6)を上向に植設し、其の内管を埋設した濾水管内に挿入して目的の濾水管の稍々下方迄一旦下降せしめた後、再び濾水管と對等位置迄引き上げ、囊に上向に植設した束の端部が逆向して束相互が重合するやうにするのである(圖-1, 2)。斯くて、束は内管と濾水管との間隙を緊密に填充し、而かも内管の摺落ちを防止し得るのである。

圖-1. 施工後の状態を示す

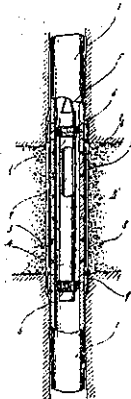
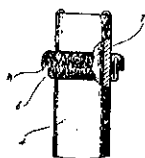


圖-2. 束の端部が逆向したる状態を示す

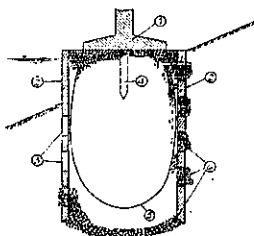


浅礎工法

(特許第142081號 發明者) 日笠有次
(特許權者) 日笠有次

此の發明は側壁の所々に開孔せる井筒を適當に盤迄在來の方法によつて沈設し内部に礫、砂利、砂等の彈性粉狀物質を填充し十分搗き固めをし、直接之を基礎とする方法である。開口部は、内部填充物質を外部の在來地層に緊接させ上部構造物よりの荷重を在來地層に誘導するに便ならしめ、且つ地盤内に於

圖-3.



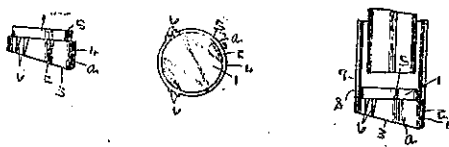
ける荷重影響線に對し井筒側壁の悪影響を極力減少せんとするものである(圖-3)。

コンクリート杭埋築用外管管

(特許第141685號 發明者) 橋本三郎
(特許權者) 橋本三郎

在來公知の圓錐形の管體は製作困難で多量の材料を要するが、之を改良して最少の材料で製作容易なると共に打込抵抗の少い様にしたもの。即ちコンクリート杭埋築用外管の下端開口に下端面(3)を外管軸の直交面に對して傾斜せしめて、その楔狀銳角により外管の地層挿入を容易にし、其の上端面に外管に挿入すべき突出部

圖-4. 側面圖 圖-5. 平面圖 圖-6. 外管を挿入せる圖



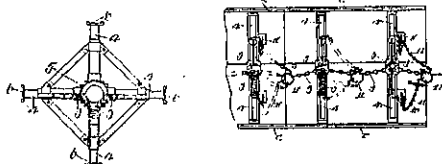
(5)を設け、且側面(2)には突條(6)を設け、下端面の傾斜による偏壓を平衡せしめたものである(圖-4, 5, 6)。

無接合コンクリート管打込芯型装置

(特許第142125號 發明者) 吉川 渡
(特許權者) 吉川 渡

適當長さの弧形狀芯型板(2)を數枚組合せて圓筒形とし、この内側より支持装置(圖-7)を以て支持し、斯かる装置を順次連續して設け、支持装置の各支柱(5)及び各芯型板を連鎖(9)にて連結したものである(圖-8)。前

圖-7. 圖-8.



記内型枠と他の適當なる外型枠との間にコンクリート打を爲し、凝固後は前記連鎖を牽引して支枠及弧形狀芯型板を分解して引出すのである。運搬便にし分解容易なるを特徴とする。

鐵管代用品製造法

(特許第141665號 發明者 小山 進
(特許權者) 山中 茂)

素紙體を豫め特殊の重合物を浸透せしめ置き更らに之に特殊の重合及縮合した資材を浸漬融着して、芯型管

に巻付け 壓搾型板に收容し熱固定を施すもので、耐寒耐熱及耐久耐酸性大なる 鋳管代用品の 製造を目的としたものである。

防水用抗火石セメント混合機

(特許第 142138 號 發明者)
(特許権者) 湯村源太郎

抗火石粉末に對し所定量の ポートランドセメント粉末を一様且均密に混合し、而も混和と同時に混合物を加熱乾燥し水分を除去しつゝ混合作用を均密ならしめて、防水用抗火石セメントの調合の良好を圖つたもの。

ポケット平板測量器

(特許第 142216 號 發明者 竹内茂雄)
(特許権者) 京北鐵道製作所

ポケット平板を用ひて平板測量の長所と測線沿ひに地物の實體を測量するオフセット測量の長所を共有する理想的なる使用法の 最も簡便なる測量器を得んとする主旨に出でた發明である。即ち幅10cm 内外で其中心に直線の基線を記入した長き帶狀の艶消オイルペーパー (6) を一方のローラー (4) に巻付け之より他のローラー (5) へ Y-Y 軸に距離目盛 (17) を施した白色の平板面に接して巻取られるやうにし、X-X 軸スケール (1) を左手親指にて掌中に置きつゝ前後摺動し測點座標を記入せられるやうにしたもの。(圖-9, 10)。斯くして縮尺作圖したものは之を直ちにトラバ測量に依りて測線網を記入した原圖紙に合はし中間に複寫紙を挿入して上面より鐵筆で軌書して内業整理を行ひ得るものである。

圖-9. 断面圖

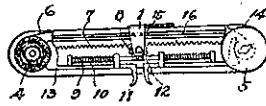
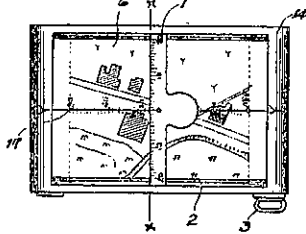


圖-10. 平面圖



コンクリート築造物の自由連結装置

(特許第 142193 號 發明者)
(特許権者) 塚原敏太郎

コンクリート 築造物の全體を複數に分割築造し (圖-11)、各コンクリート塊間に小隙 (3) を設けると共に其等の相對する 接合面に互に摺動自在に嵌合せらるゝ金

圖-11.

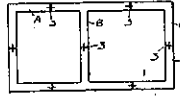
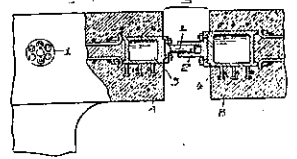


圖-12.



屬性連結杆 (1) 及筒 (2) を夫々固定したものの (圖-12) で、各コンクリート塊が其の伸縮震動又は傾斜に依り接合面と直角の方向に移動する事は許すも其他の方向には單獨に移動するを許さず、従て接合部に喰違ひの生ずる虞れ無く又要部に龜裂を生ずる虞れも無く、コンクリート構造物を耐震的ならしめ得るものである。

鐵筋コンクリートの製法

(特許第 142295 號 發明者 (特許権者))
(特許権者) エーソルド・ホイエル

此の方法は、鐵筋コンクリートの硬化する迄豫備張力下に保つ方法を用ひ、その鐵筋として直徑 0.5 乃至精々 5mm にして 12 00~30 000 kg/cm² の極めて高き抗張力を有する 高熱處理を施した細き鋼線を用ひ 之を緊止體を使用せずして埋設するのである。鐵筋をコンクリートが硬化する迄豫備張力の下に保つ事は既に試みられてゐる方法であり、此の場合鐵筋としての棒鐵は緊止體を必要とするが發明者の實驗に依れば、0.5~5mm の太さに於て使用せられる如き 高度に緊張せられた細き線では、端部に緊止體を必要とせず、極めて大なる附着強度を有しその張力を十分にコンクリートに傳達し得る事を確認し得たのであり、此の發明はその實驗に依り案出せられたものである。此の方法に依る鐵筋コンクリートは振動荷重に容易に耐へ、且つ鐵製構造物の代用となり得る程度に彈性的である。

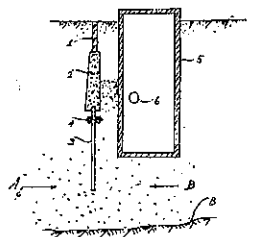
地下水採取装置

(特許第 1-2316 號 發明者)
(特許権者) 津田喜次郎

奥地に廣大なる流域を有し海岸に於て地峽によりて括約せられる如き地勢に於てその流域内の地下水を海水を混ざる事なく採取して飲用若くは工業用に使用せんとするものである。

その装置としては、圖-13 に示す如く、堰堤設備 (1, 2, 3) を設け之に依り堰止められたる地下水を集水埋渠 (6) 等に依り集水井 (5) に集め、之を揚水するやうにしたものであるが、前記堰

圖-13.



堤装置はその下端を地下の堅盤又は粘土層の如き水の浸透せざる深度(8)に達せしめずして或程度に止め、其の底下に水の浸透すべき砂土の存在する淡水流出間隙を生ずるやうにし、以て堰堤築設の費用を節約せしめたものである。

汚濁水の浄化方法

(特許第142990号 発明者 伊藤 暉
(特許代理人) 日本セパレーター工業株式会社)

図-14 参照。遠心分離機のバケット(1)内側に濾布製の二重袋(2)を装備し、其の袋内に活性炭酸性白土ク

ロークカルキを混合せるもの(3)を充填し、更に其の内側には砂(4)を入れ汚濁水を投入濾過殺菌する方法である。之に依れば注入汚濁水は先づ濾過筒内側壁面に遠心力を以て接着せら

れてある砂層を通過する事に依り泥類を、次で濾布を通して沈澱物を、活性炭酸性白土により色素其他の不純物腐敗物質を除かれ、クローカルキに依り殺菌が行はれる事となり、其の操作設備簡單容易なるを特徴とする。

